

TECH Biz の注目技術

— 1 —

Wi-FiやBluetooth(ブルートゥース)といった無線通信が普及する中、「電磁波」が引き起こす通信障害や機器の誤作動を防ぐ必要性が高まっている。表面処理総合メーカーのユケン工業(愛知県刈谷市)は、長年培った樹脂製品へのめっき技術を生かし、電磁波を99・99%遮断する加工法を開発した。

特徴は電磁波を通さない特殊な金属の膜で樹脂製部品の表面を覆うこと。膜の厚さは10～50ナノメートルで、シールのように貼って使えるようフィルム状に加工した製品群を「Y-シールド」と名付けた。昨年、年末に開発したばかりで、テックBizで紹介し実用性を見極める。

電磁波を遮断する技術は、スマートフォンや医療機器といった電子機器に使われている。現在は塗料や金属の箱などで覆う方法が一般的だが、遮断性や価格、重量面で課題があった。Y-シールド

めっき技術で電磁波遮断

ユケン工業(愛知県刈谷市)



QRコードから「中BIIZナビ」トップページへ

電磁波を遮断するフィルム状の「Y-シールド」＝愛知県刈谷市のユケン工業で

が、低コスト化や高い遮断性などを実現できるか期待がかかる。

片桐元洋社長は「樹脂めっきの需要が変わってきた」と指摘する。メインの仕事である自動車部品の装飾は流行の変化で市場が縮小傾向にある。一方で車の電動化の流れに伴い、電磁波の遮断に関する問い合わせは相次いでいる。

欧米で規制が厳しくなっていることも背景にあるという。

表面処理の薬品開発から加工技術まで一貫して担えるのが強み。片桐社長は「素材そのものに(電

磁波遮断などの)機能を付けて付加価値を提供していく」と話し、新たな市場開拓に意欲を見せる。(岸友里)

◇

「次世代ものづくり基盤技術産業展 TECH Biz EXP O 2025」(テックビズ＝名古屋国際見本市委員会、名古屋産業振興公社主催、中BIIZナビ共催)が28、29の両日、名古屋千種区の吹上ホールで開かれる。出展する209社・団体の中から優れた技術を紹介する。